

野田首相は「大飯原発再稼働宣言」を直ちに撤回せよ！

野田首相は、昨日 8 日の記者会見で「関西電力大飯原発 3、4 号機を再稼働する」と宣言した。再稼働の前提となる大飯原発の安全性について「福島を襲ったような地震・津波が起きても事故を防止できる対策と態勢は整っている」とし、再稼働は「国民生活を守る」ためだと強調した。

本当に安全性は確保されているのか。そもそも国会が設置した福島原発事故調査委員会の報告すら出されず、事故原因も究明されていない。再稼働の判断基準とされた安全基準も「暫定的なもので新態勢の発足後に見直す」ものであり、原子力規制庁さえ発足していない。大飯原発の敷地内を走る断層で地表がずれる可能性の専門家の指摘への対応や、事故が起こった場合の放射能予測、住民避難の計画すらできていない中での「再稼働宣言」は、国民を新たな危険と恐怖にさらすものであり、断固として「再稼働」は許されない。

また、再稼働が「国民生活を守る」ことになるのか。「再稼働しなければ電力不足での突発的事故による命の危険、電気料金が高騰すれば中小企業や家庭にも影響し、経済の空洞化を招く」と、幾重にも国民を恫喝し「再稼働」に誘導している。電力需給については、夏場の数時間のピーク時の対策を今から準備すれば可能とする専門家の指摘もあり、このような真摯な検討こそ政府の責任で行うべきである。

「国民生活を守る」というなら、原発事故によって今なお深刻な避難生活を強いられている被災者、被災地の一刻も早い復興支援、原発に依存しない新たなエネルギー政策への転換にこそ全力をあげるべきである。

私たちは、放射線被曝による健康への影響や、放射性物質の大量放出による環境への計り知れない危険性を憂慮する医師・医学者として、これまで「核兵器も原発もない社会」の実現に向けて提言してきた。

私たちは、野田首相に対し、「再稼働宣言」を直ちに撤回し、「核兵器も原発もない社会」の実現に向けた努力を強く、強く要求するものである。

2012 年 6 月 9 日

核戦争に反対する医師の会 第 8 回全国世話人会